

行の子



(児童鉄配付)

令和5年11月20日

先日、「新日本フィルハーモニー交響楽団」の方に来ていただき、全校児童で芸術の秋を 堪能いたしました。

これは、文化庁が主催している「学校巡回事業」の一つとして実施したものです。

まずは、公演1週間ほど前に、数名の楽団員の方に来校していただき、5,6年生に対して事前のワークショップを行い、オーケストラについて学びました。指揮者練習なども行い、本番への気持ちも高まったことと思います。

そして、11月7日(火)いよいよ本公演です。

正直、普段聴く機会が少ないオーケストラの演奏を1時間半も低学年の子供たちは飽きずに聴くことはできるのだろうか、という不安もありましたが、演奏が進むにつれ、そんな心配は全くいりませんでした。

楽団の方の素晴らしい演奏はもとより、楽しいトークを交えての楽器の紹介に子供たちは、身を乗り出して楽しんでいました。

そして、5,6年生の4名が、『ベートーベン作曲 交響曲第5番「運命」』の指揮者体験をさせていただきました。4人の持ち味が出ていて、指揮によって音楽の雰囲気が違うことを感じることができたのではないでしょうか。

また、翌日11月8日(水)は、「成田市スクールコンサート」が行われました。これは、小学校4年生を対象に成田市と成田市教育区委員会が開催しているものです。国際文化会館で「成田エアポートシンフォニーオーケストラ」の演奏を聴きました。こちらもとても

素晴らしく、参加した4年全員とオーケストラ演奏で歌った「ビリーブ」は感動でした。

芸術の秋にふさわしいこれらの体験は、子供たちの心に 響いたことと思います。



11月10日に、3年生と5年生がそれぞれ親子レクを行いました。多くの保護者の方に参加していただきました。

3年生のでは、JALの方に来ていただき、よく飛ぶ紙飛行機づくりを行いました。本当によく飛ぶ飛行機で、子供たちも笑顔いっぱいでした。

5年生は、ドッヂビーを行いました。フリスビーを使ったドッヂボールと侮るなかれ、なかなかの運動量です。親子で、汗をいっぱいかきながら親子で楽しみました。